

# 令和7年第16回定例公安委員会会議録

開催日時 令和7年6月5日(木)午後0時20分～午後5時0分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後1時50分

### 2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 青山警察本部長 森本警務部長 渡邊首席監察官  
細田刑事部長 永島警備部長 山本警察学校長  
永井情報通信部長 生田警務部参事官

(事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員)

### 3 議題事項

### 4 報告事項

- 令和7年度監察実施計画(警務部)
- 無線中継所への燃料搬送訓練の実施(情報通信部)

#### (1) 令和7年度監察実施計画(警務部)

##### 警察本部

監察実施計画は、鳥取県警察の監察に関する訓令に基づき、毎年度策定しているものであり、監察の種類、監察の実施項目、監察の対象とする所属、監察の時期などを定めることとされている。

実施する監察の種類は、警察業務の運営の実態を把握するための業務監察と、警察職員の服務の実態を把握するための服務監察である。

監察の実施項目については、各部の業務推進計画、全国の非違事案発生状況、警察局監察実施計画などを踏まえ、警務部は「警務部門における適正な業務管理の進捗状況」について、生活安全部は「生活安全部門における捜査管理」、「無線機器の適正管理」について、刑事部は「適正捜査及び組織的な捜査管理の推進状況」について、交通部は「交通事故分析に基づく各種施策の推進状況」、「許可業務の適正管理」、「適正捜査及び組織的な捜査管理の推進状況」、「運転免許の行政処分の早期上申のための取組状況」について、警備部は、「警備警察における適正な業務管理の推進状況」について確認することとしている。

対象とする所属は県下9警察署とし、監察の時期は、10月から11月を予定している。

#### 委員

監察の実施項目はどれも重要な項目であり、10月から11月にかけて監察を実施されるとのことであるが、各警察署においては、推進目標を掲げて取組をお願いする。

#### 委員

各種業務の推進状況を監察されるとのことであり、組織の活性化のためにも大事なことだと思う。業務が形骸化しないよう、しっかりとした監察をお願いする。

#### 委員

各幹部の方には、一定の職員に仕事が偏らないよう、仕事の配分について考慮した監察を実施していただきたい。

### (2) 無線中継所への燃料搬送訓練の実施（情報通信部）

#### 警察本部

大規模災害発生時に、情報通信部として優先すべき責務の一つとして、警察通信の安定確保があり、特に自然災害の影響を受けやすい山間部に位置する山上無線中継所の機能を維持し続けることは重要な課題である。

無線中継所の機能は、平時は商用電源により維持されているが、落雷や大規模災害により停電となった場合、瞬時に非常用発動発電機に切り替わる運用となっている。情報通信部では、東日本大震災以降、災害に強い警察情報通信を確保することを目的として、発動発電機燃料タンクの大容量化を図っており、県内の無線中継所も一定期間は燃料がもつように設定・整備しているところである。しかし、非常用発動発電機も燃料が枯渇すると機能不全に陥ってしまうことから、大規模災害による登山道の崩落により車両による燃料搬送が不可能となった場合も、燃料を補給し続ける必要がある。そのため、空又は地上からの燃料搬送を想定したヘリコプターによるホイスト降下訓練や燃料に見立てたポリタンクを背負

い、徒歩で上山する訓練を実施した。ホイスト降下訓練について、今年度1回目の訓練を4月9日に実施した。内容については、航空隊員や機動隊員から、機動警察通信隊員が、鳥取県消防防災航空センター内訓練塔において、降下、停止、巻き上げなどの基本的な合図の方法、ホイスト救助装置を使用した機動警察通信隊員の投入、燃料缶受取時の留意点等の指導を受けた。2回目は、4月15日に鳥取空港内のグラスエリアにおいて、県警察ヘリコプター実機を使用した実技訓練を行ったものである。

現在、機動警察通信隊員数名をホイスト要員として指名しているが、引き続き航空隊や機動隊の指導のもと訓練を積み重ね、追加の要員指定や練度の向上を図っていく。また、県下のホイストポイントについて、安全性に問題がないか視察し、航空隊と認識の共有、連携強化を図った。

次に、徒歩上山訓練であるが、5月12日に機動警察通信隊長以下9人で実施した。内容については、無線中継所までの登山道約4キロメートルを、20リットル入りの燃料缶を交代で背負い、簡易トイレ等自活用資機材をリヤカーに乗せて搬送し、現地で非常食を使った自活訓練を行った。

情報通信部では、いつ如何なる時でも警察通信を確保するため、今後も県警察との連携を図りながら訓練を計画的に実施し、有事への備えに万全を期していきたいと考えている。

#### 委員

警察無線は人命に影響を及ぼす重要なものであり、大規模災害が年々増えていることから、しっかりと訓練や対策をお願いする。

#### 委員

災害時に車両による搬送が不可能になることは有り得ることで、非常に重要な訓練だと感じた。ヘリコプターは天候の影響を受けることから、他の方法による搬送も検討をお願いしたい。

警察活動の生命線である警察無線の維持管理は、災害時に必須のことであるので、引き続きよろしくをお願いする。

#### 委員

有事への備えは必須であり、災害時に備え、先を見据えた対応を行う必要がある。燃料について、残量を確認しながら、いざという時に後手にならないようお願いする。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

4 報告事項

全国本部長会議結果

5 決裁

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。